

深草こえずプロジェクト 講演会

深草の自然の成り立ち

氷河時代の生物と自然環境

稲荷から桃山に続く深草・桃山丘陵は、今から 50~60 万年前の氷河時代の地層で出来ています。原始的なゾウの化石が発見されたほか、海にすむ貝の化石も見られることから、今の大阪湾から海が京都盆地まで達していた時期があることが判っています。深草にゾウがすみ、海辺があった時代、自然環境と生き物たちについてお話をします。

深草の自然の成り立ちをきいて、現在にどうつながっているのか一緒に考えてみませんか！



深草の
自然の成り立ちは？
地図から読む！
現在とのつながりは？



日 時 2014年 **10月 29日(水)** 14:00~15:30 (受付 13:30~)

場 所 伏見区役所深草支所4階会議室(伏見区深草向畑町93-1京阪「藤森」徒歩約7分)

講 師 神谷 英利(もと京都大学理学部助教授・地質学)

定 員 40名(先着順)

費 用 無 料

申込み 不 要

問合せ 深草古絵図プロジェクト事務局(杉田 ☎ 090-2355-5486)

企画・運営 深草古絵図プロジェクト (第2回)

「古絵図・古地図で再発見!過去・現在・未来」事業

(伏見区区民活動支援事業)

